

令和4年度 年間事業計画・実績書（5年間継続して実施する事項）

様式2-①

施設名またはグループ名 大船フラワーセンター

No.	計画					実施及び分析														
	事業計画（提案内容）					H30	R1	R2	R3	R4	実施内容	H30	R1	R2	R3	R4	自己評価	備考 (次年度に向けて)		
	様式	提案内容																		
5	1-	(2)	イ	1) 県内企業への業務発注を優先 2) 発注先の選定方法	①県内事業者への優先的な業務発注（実施継続） ②直営作業による主要業務の実施（実施継続） ③複数社からの見積もりによる委託先検討とコストダウン（実施継続） ④法定点検や廃棄物処理等の委託にあたっては必要な資格・免許を有する専門家に発注（実施継続） ⑤委託業務の作業進捗・水準の指導・監督・検査（実施継続） ⑥適切な雇用条件・労働環境整備を行っている企業に発注（実施継続） ⑦反社会的勢力への発注防止（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
7				2) 執行体制	①スーパーバイザーによる適切な維持管理業務内容、頻度、職員配置計画の立案（実施継続） ②維持管理業務の統括を担うファシリテーターを配置（実施継続） ③造園・土木施工管理経験を持つ園長（責任者）が必要に応じてファシリテーターをサポート（実施継続） ④施設設備に関する異常発生時の対応（実施継続） ⑤清掃、警備等各直営職員の配置（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
8	2-	(1)		3) 清掃業務	①直営の清掃スタッフが日常清掃を実施（実施継続） ②7:00からの早朝清掃作業を実施（実施継続） ③スタッフバックの携帯（実施継続） ④感染症発生を防止する清掃の実施（実施継続） ⑤高寒期における清掃人員の強化（実施継続） ⑥トイレ清掃を1日2回以上実施（実施継続） ⑦トイレのコートイング清掃を適宜実施（実施継続） ⑧定期清掃を年4回実施（実施継続） ⑨特別清掃を適宜実施 特に汚れのひどい箇所の高圧洗浄（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
9				4) 保守点検業務	①法定点検、保守点検等の管理をファシリテーターが実施（実施継続） ②補修改善計画書の提出と対応の協議（実施継続） ③修理対応の履歴蓄積（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
10				5) 警備業務	①警備員を24時間常駐で配置（実施継続） ②繁忙期は警備員がフレキシブルに園の運営をサポート（実施継続） ③携帯装備の充実 懐中電灯等（実施継続） ④無線ディテクターを用いたトイレの盗撮・盗聴調査（実施済み）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
11				6) 受付業務	①事務スペースをエントランスホールに設置（実施継続） ②エントランススペースを無料休憩スペースとして開放（実施継続） ③発券エリア 自動発券機を設置（実施継続） ④無料入園エリア エントランススペースにキッズスペースを整備（実施継続だが感染防止策として現在閉鎖中） ⑤花苗販売スペースを入園ゲート外側（無料入園エリア）に設置（実施継続） ⑥イベントスペース 入園ゲート外側（無料入園エリア）を活用（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
14			ア	4) 植物を学ぶ・理解する	⑤園芸相談の継続実施（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
20	3-	(1)	イ	2) 来園者・近隣住民への情報発信：近距離	①ロゴマークの製作（運用中） ②スタッフによる来園者への直接的な情報提供、コミュニケーション（実施継続） ③パンフレット、植物園だより等配布物のデザイン刷新・内容の見直し（実施済 随時更新） ④エントランススペースおよび休憩スペースを活用した情報発信（実施継続） ⑤自治会回覧板、地域情報冊子「広報かまくら」、ケーブルテレビ、地域掲示板の活用（実施継続） ⑥鎌倉市公園協会が管理する公園での情報発信（実施継続） ⑦地域団体・企業との連携による広報PR（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
21				4) 県内への情報発信：中距離	①県の広報誌「風のたより」での情報提供（実施継続） ②共同事業体が管理する県内の指定管理施設での情報提供（実施継続） ③新聞・雑誌、テレビ等県内で発信される情報媒体へのプレスリリース（実施継続） ④相鉄企業グループ会社が運営する県内近隣ホテルでの、観光客をターゲットとする情報提供（実施継続） ⑤年間80万部発行の相鉄線利用者向け情報誌への情報提供（実施継続） ⑥共同事業体各社の職員への広報（実施継続） ⑦教育委員会・校長会を通じた団体利用の手引の配布（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
22				5) 県外への情報発信：遠距離	①ホームページの新規製作（実施継続運用中） ②SNSの活用（実施継続運用中） ③比谷花壇広報誌からマスメディアへのプレスリリース（随時実施） ④自社ホームページでの紹介やリンクによる広報（実施継続） ⑤無料のイベント情報ホームページやフリーペーパーの活用（随時実施）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					
24			ウ	2) 手話言語条例への対応	①施設を訪れる前の情報提供における段階での配慮 ・お問合わせへの対応（実施継続） ・Webでの情報提供における配慮（実施継続） ②窓口における対話の段階での配慮 ・タブレット端末を使用した対面型通訳によるスムーズな対話をおもてなし（実施継続） ・筆談器やテキスト選択など複数の対話の選択肢を用意（実施継続） ③施設やイベントにおける対応（実施予定） ④職員、県民に対する手話学習の推進 ・朝礼や研修を通じた手話の習得（実施継続） ・県民に対する手話への理解の促進（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●	●					

令和4年度 年間事業計画・実績書（5年間継続して実施する事項）

施設名またはグループ名	大船フラワーセンター
-------------	------------

No.	計画					実施及び分析													
	事業計画（提案内容）					H30	R1	R2	R3	R4	実施内容	H30	R1	R2	R3	R4	自己評価	備考 (次年度に向けて)	
	様式	提案内容																	
58	9-	(2)	1) 環境配慮の考え方 2) 大船フラワーセンターでの環境配慮の取組	2) ①グリーン購入の推進、及び環境に最大限配慮した商品・サービスの購入、再生紙の活用（実施継続） ②ごみの減量化（実施継続） ③有害虫の早期発見・早期対処、及び農業を極力使用しない維持管理（実施継続） ④目標数値を定めた、節水・節電の実施（実施継続） ⑤節電の取り組み（実施継続） ⑥電気料金とのバランス勘案し、環境負荷の少ない発電方法を採用している事業者からの電力購入を検討（実施継続） ⑦過水時の水道栓への節水コマの設置、及び自動水栓への順次変更を検討（実施継続） ⑧発生材の園内活用（実施継続） ⑨環境共生意識の普及啓発を目的に、子どもたちを対象とするクラフトイベントに剪定枝等を活用（実施継続） ⑩管理車両への軽油の給油はS Q(標準品質)マークが掲示されているガソリンスタンドを使用し、不正軽油使用を防止（実施継続） ⑪かながわトラストみどりの財団の取組支援（実施継続）	●	●	●	●	●			●	●	●	●				
60	9-	(4)	1) 「ともに生きる社会かながわ憲章」を踏まえた団体の考え方 2) 具体的な取組 ～施設設備等、ハード面での合理的配慮の提供～ 3) 具体的な取組 ～サービス提供等、ソフト面での合理的配慮の提供～	2) ①バリアフリー対応工事完了の積極的なPR（実施継続） ②更なる環境整備の実施（実施継続） ③バリアフリーマップの作成（実施継続） ④情報アクセシビリティ向上への配慮（実施継続） ⑤IPやチラシ等発行物における難しい漢字の多用や、読み上げソフト対応を念頭に置いた配慮の実施（実施継続） 3) ①柔軟かつ適切な合理的配慮の提供（実施継続） ②接遇研修における障害者差別解消法等への理解の促進（実施継続） ③筆談、読み上げ対応、手話等による意思表示やコミュニケーションを支援するための人的支援の提供（実施継続） ④NPO瓦葺臨海探検隊や補助犬協会と連携した、障害のある方に配慮したイベントプログラムの開発・提供（実施予定）	●	●	●	●	●				●	●	●	●			
61	10-	(2)	1) 個人情報保護の考え方 2) 個人情報の収集、管理方法、管理体制 3) 情報漏洩時の対応 4) 情報公開請求に対する対応	2) ①利用目的と範囲を明確に定め、必要最低限の情報のみ収集（実施継続） ②思想、宗教、人種、民族、本籍地などの機微情報は一切収集しない（実施継続） ③法令規定や本人同意のある場合以外、第三者へ一切情報を提供しない（実施継続） ④情報取扱責任者による取扱管理を実施（実施継続） ・管理責任者を情報取扱責任者に選任 ・情報の取扱者を業務上必要の認められる特定のスタッフのみに限定 ⑤個人情報統括管理表を作成（実施継続） ・統括管理表には、取り扱っている情報の種類、情報取得、管理票、保管場所、保管方法、保管期間を記載 ⑥専門会社によるP Cセキュリティ体制の確立、漏洩防止策を実施（実施継続） ・起動時のパスワード設定や利用者I Dの設定、アクセス権の設定、ウイルス対策ソフトの導入、アクセス記録の保持、ファイヤーウォールの構築等 ⑦個人情報の記載された書類は鍵のかかる朝もしくは書庫にて保管（実施継続） ⑧情報を破棄する際、情報の流出に十分留意する（実施継続） ⑨複数を対象に送信する場合はB C Cでの送信を徹底（実施継続） ⑩個人情報保護研修を毎年実施（実施継続） ⑪雇用スタッフ及び協力会社契約時個人情報取扱特記事項の提出を義務化（実施継続） ⑫代表団体日比谷アメニス本社組織が年に一度内部監査を実施（実施継続） ⑬代表団体日比谷アメニスが個人情報漏洩損害保険に加入（実施継続） ⑭プライバシーポリシーを施設H P及び管理事務所受付に明示（実施継続） 3) ⑮情報取扱責任者が直ちに担当課、代表団体日比谷アメニス本社に報告（実施継続） ⑯被害状況（漏洩内容、範囲）を把握（実施継続） ⑰対象者に情報漏洩の内容を連絡し謝罪と状況説明、保険の適用等対応（実施継続） ⑱漏洩した情報を回収し、二次被害を防止（実施継続） ⑲発生原因を調査し経過を把握し、共同事業体と共に随時共有（実施継続） ⑳個人情報取扱に関する調査、改善策の構築、管理体制へフィードバック（実施継続）	●	●	●	●	●				●	●	●	●			

令和4年度 年間事業計画・実績書（年度ごとに実施を確認する事項）

様式2-②

施設名またはグループ名		大船フラーセンター							
NO	様式	事業計画（提案内容）	項目	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		年間目標		<ul style="list-style-type: none"> 適切な業務引継ぎ、職員配置による施設の安定した管理運営体制、市民の自立システムに向け、増設、ワンフロア、オーストラリア館の導入 マニュアル作成等、職数管理を含む各業務の平準化 各愛好者団体（展示関連）、近隣地域を中心とする関係団体との関係構築 	<ul style="list-style-type: none"> 職数管理を含む各業務の平準化及び改善 展示、展示等実用サービス実装の安定化 愛好者団体展示のレベル向上 自主事業サービス提供の安定化 	<ul style="list-style-type: none"> 広報宣伝手法の平準化 利用者数向上につながる利用促進サービスの提供 地域団体との連携事業推進 植物園協会を通じて国内外施設との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数向上につながる利用促進サービスの提供 地域団体との連携事業推進 次期指定管理に向けた課題点抽出及び改善 	<ul style="list-style-type: none"> 開創60周年を迎える記念イベント・記念行事の開催 地域団体との連携事業推進 次期指定管理に向けた課題点抽出及び改善 	
3	1-(1)	ア	3) 保有植物の種類数の維持充実による魅力アップの方針、考え方 b. 個別種の管理方法、スケジュール c. 園内の新ラベルシステム導入、植物分類方法 d. 品種保存の危険分散 e. 樹木医による定期的な樹木診断	計画	<ul style="list-style-type: none"> 個別種の従来の管理スケジュールに沿って管理を行う。改善点は、実測・修正を掛け管理を行う。 ラベルシステム導入のための札落ちの無いように仮ラベル整備を継続して実施する。 当社グループの植物園にて品種保存のための分散栽培を行う。 要診断樹木候補の樹木医による下調査。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別種ごとの管理スケジュールによる管理を継続しつつ、スケジュールの細部修正も行う。 玉置観などの園ゆかりの桜など日本庭の会や当社協力会社の茨木園種で苗木の増殖を行い、繁殖業者の分譲できる体制にする。 樹木医に基づいた樹木の育成・検査など、および危険木の伐採などをすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> b. 個別種ごとの管理スケジュールによる管理を継続しつつ、スケジュールの細部修正も継続を行う。無知展示室の園コレクション展示会場を行う。 c. 引継ぎラベルシステム導入も順次進める。 e. 樹木医による定期的な樹木診断により、保有植物の枯死等を事前に防ぐとともに、良好な成育状態を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大船のバニッシュプロジェクトの保存の確立と、展示による品種保存の必要性の啓もう活動の実施 	
		実施内容		<ul style="list-style-type: none"> 個別種の管理方法を供より取り取り管理に反映。 新ラベルシステムに向け、増設、ワンフロア、オーストラリア館の品種チェックと仮ラベルの取り付けを実施。 植物園協会種苗交換会で増設、分譲、情報交換を実施。 危険木の伐採、伐後管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別種の管理については従来の管理スケジュールに沿って展示などの考慮し調整を図った。 ラベルシステムの品種チェックと仮ラベルの整備、静岡の寺院より花バニッシュの約200種以上を譲渡いただき種々の置き付け管理を含め品種の調整を行った。 植物園協会種苗交換会を行い、品種の充実と保存をおこなった。 大宮台風の土砂などあり、事前にかかり状、折れ枝などの調査を実施し来園者の安全対策をおこなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度静岡の寺院より譲り受けたハスと当園の栽培品種と合わせ240種に近いものを展示し7月8月と開花を迎え来園者に喜んでいただけた。2月に好評を受けての増殖を完成させ、すべての品種を玉置観園種に集め来年度の開花を待っている。 ラベルシステムの品種チェックと仮ラベルの交換350枚の品種の付け替えをおこなった。 玉置観の原木より接ぎ木を取り1m程度の苗木に成長し一部園に植えつけた。 ラバラ園の品種の写真をすべて撮影し特撮をつけた一覧できる写真付きリストの作成をおこなった。 	<ul style="list-style-type: none"> b. 玉川大学田圃教授立会いの下、葛巻園の現状を確認しただけ、花苗を健全に育成し、保全していくための指導・協力を得た。また、5か年計画で品種特定を行っていく。 		
		自己評価		S	S	S	A		
		備考 (次年度に向けて)		引継ぎ資料と現状に差離が多々あったため、洗い出しに時間を要した。継続してリスト整理に取り組む。	引き続き品種の充実、魅力ある植物の充実を図る	引き続き品種の充実、魅力ある植物の充実を図る	品種保全の危険分散と品種の拡充 花苗育成・保全の計画・実施の報告		
4	1-(2)	ア	1) エリア毎の改善案、職数案 おおよそフラーワリーの実現 2) 観賞植物の充実 3) 花木・樹木の管理手法 4) 無知展示室内植物の管理と展示 5) バックヤードの活用方法 6) フラーワローグユーザーの整備 7) 装飾花壇、新品種見本の管理 8) 芝生広場の高水準なエリアグリーン 9) 魅力ある管理作業 10) 生物多様性保全の推進	計画	<ol style="list-style-type: none"> エリア毎の改善案、今年度園林見せ花、花の「かど」の追加、職員の再教育、サイン等の品種購入と本館植物の展示 ファンクションアルトリム設定シートにデータを記入開始 無知展示室内植物の耐寒性の確認とバックヤードの植物の展示室への導入 バックヤードの植物の種類別の展示 装飾花壇、立体的な見せ方により有効に見せる。 	<ol style="list-style-type: none"> エリア毎の改善案を継続して進める。 ファンクションアルトリム設定シートに基づく樹木管理を進める。 無知展示室職数管理技術の向上、無知展示室に多角植物の職数とアグバ、アグニ、ハナジツなどの人気種を職数管理を併せて、無知アグニオオバスの導入展示・イベント。 無知展示室内植物の耐寒性の確認とバックヤードの植物の展示室への導入 バックヤードに植物ディスプレイを一つ一つ管理を含むものと栽培増殖を実施、状態の良いものは、一般展示をすすめる。 生物多様性の推進として管理に影響のない範囲で林内への発生技術の普及、病害の100%駆除化、在来木の展示公開。 	<ol style="list-style-type: none"> エリアごとの改善案を実施状況に合わせて修正しながら継続推進。 観賞植物（ハンショウツボ、ジャコウチ、ツバキ、ジャコウチ）は、園の各エリアの耐寒性にはコントロールされた観賞植物の導入を行い、見本への誘導を行う。 ファンクションアルトリム設定シートに基づく樹木管理を継続。 バックヤード植物の取用エリアを無知展示室に作成しバックヤード植物の有効な見せ方を確立する。バニッシュ入りのデザインの植込し及び調整 新品種の見本展示（ハンジュー、ビオラ、クリスマスローズ、モミジ） 	<ol style="list-style-type: none"> エリアごとの改善案・職数案によるフラーワリーの再掲 観賞植物の耐寒性の確認による「桜の園」の充実と玉置観を広げる活動によりより名所としての知名度と地位をおおけていく ボタニカル・シグナルが園・バニッシュ・メロンなど低木や生垣で囲われているものを予定し開放感のある場所に変えていく。 大船フラーワローグユーザーの「魅せる」フラーワリーの企画立案・撮影を行う人員として「フラーワローグユーザー」を配置 	<ol style="list-style-type: none"> ファンクションアルトリム設定シートに基づく樹木管理の効果的運用 4年間の集大成として、新花、新品種コレクションの年12回の紹介展示 ファンクションアルトリム設定シートに基づく樹木管理の効果的運用
		実施内容		<ol style="list-style-type: none"> 身障者対応としての梅園入り口設置、及び案内マップの改善、さらに、来園者のニーズに対応し、レストハウスのマップを新規設計し設置、グリーンハウスの新たなサインの品種購入と、バニッシュアグニオオバスの導入展示・イベント。 無知展示室内植物の耐寒性の確認とバックヤードの植物の展示室への導入 バックヤードに植物ディスプレイを一つ一つ管理を含むものと栽培増殖を実施、状態の良いものは、一般展示をすすめる。 生物多様性の推進として管理に影響のない範囲で林内への発生技術の普及、病害の100%駆除化、在来木の展示公開。 	<ol style="list-style-type: none"> スレイン池（バーグラ下）には重たいまま植物に接することが出来るハンズオンディスプレイを設置し体験利用を促進した。 人気のある観賞植物を新たな品種を取り入れ、玉置観に集め来年度の開花を待っている。 グリーンハウスの無知対策として観賞室やビニールシート内張り、コニによる幹害等の対策を行い、カネボウの開花、令和3年4月にはヒメカズラの多くの蕾を確認する事が出来た。 グリーンハウスの多くの蕾を確認する事が出来た。 グリーンハウスの生体管理の改善報告を作り形（プロセス）の導入を行い、コニによる幹害等の対策を行い、カネボウの開花、令和3年4月にはヒメカズラの多くの蕾を確認する事が出来た。 グリーンハウスの生体管理の改善報告を作り形（プロセス）の導入を行い、コニによる幹害等の対策を行い、カネボウの開花、令和3年4月にはヒメカズラの多くの蕾を確認する事が出来た。 グリーンハウスの生体管理の改善報告を作り形（プロセス）の導入を行い、コニによる幹害等の対策を行い、カネボウの開花、令和3年4月にはヒメカズラの多くの蕾を確認する事が出来た。 	<ol style="list-style-type: none"> 新たな展示のエリア作りとして、鎌倉ジサイ同好会と協働し、田舎ツボクツボの集いにアマジサイの小道（仮称）を計画し月に200品種250本のアマジサイの植え付けをおこなった。散策しながら本生土の花が楽しめることのできる場所を作った。 桜の園の枝はれや樹勢の衰えも見受けられ、桜の苗木を新たに植栽を行った。 芝生広場、カナル花壇には苗の植え付けと種の播種を繰り返し、花の丈の変化を付け写真映え、積み取り体験もできる花壇計画を行った。 			
		自己評価		S	S	S	A		
		備考 (次年度に向けて)		ファンクションアルトリム設定シートの記入継続、無知展示室における植物の栽培育成技術の移行。	無知展示室における植物育成技術の継続	無知展示室における植物育成技術の継続	無知展示室における植物育成技術の継続		
13	3-(1)	ア	2) 目標入園者数	計画	・年間20万人	・年間23万人	・年間24万人	・年間25万人	
		実績値		238,778人 詳細：様式5	168,727人（前年度-70,051人） 詳細：様式5	140,190人（前年度-28,537人） 詳細：様式5	191,641人（前年度+51,451人）		
		自己評価		S	A	A	A		
		備考 (次年度に向けて)		初年度はリニューアルオープンによる集客が多かった。今後継続して集客できるよう、新たな企画を提案していく。	コロナの影響もあり、2年目の今年度は前年度リニューアルオープンの集客数には届かず、魅力ある植物園とイベントの充実を図るとともに、SNS活用による情報発信の徹底を促して集客拡大を目指していく。	4月、5月度の休園や緊急事態宣言・まん延防止等重点措置でのイベント・展示会の中止などにより来園者数を伸ばすことができなかった。園内集客や魅力あるイベント・展示会の開催、広報活動の強化により、集客の拡大を目指していく。	コロナの終息が見えず、感染拡大防止対策を行い、イベント等は人数制限を行い開催するなど、目標入園者数には届かなかった。より魅力あるイベント・展示会により集客拡大を図っていく。		

令和4年度 年間事業計画・実績書（年度ごとに実施を確認する事項）

様式2-②

施設名またはグループ名		大船フラワーセンター								
NO	様式		事業計画（提案内容）	項目	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
17	3- (1)	ア	5) 植物に専く	⑦放課後の居場所づくり事業：サニースクール	計画	・地域ニーズ把握	・事業スキーム検討	・ブレイバント実施	・事業化	・事業化
					実施内容	近隣・小中学校へ事業についての説明開始	近隣・小中学校へ事業についての説明開始	近隣・小中学校へ事業についての説明	近隣・小中学校へ事業についての説明	
					自己評価	A	A	A	A	
					備考 (次年度に向けて)	引き続き地域のニーズ把握に努め、事業スキームを検討。	多くの小中学校生徒に植物の魅力を知ってもらい、事業スキーム構築を進めていく。	引き続き地域のニーズ把握に努め、事業スキームを検討。	引き続き地域のニーズ把握に努め、事業スキームを検討。	
17	3- (1)	ア	5) 植物に専く	⑨観光ツアーの誘致 大船フラワーセンターツアーガイドの製作	計画	・鎌倉市観光協会との協力体制構築	・ツアーガイド(冊子)製作 ・観光協会との協力体制継続	・ツアーガイド(冊子)発行、運用	・ツアーガイド(冊子)発行、運用	・ツアーガイド(冊子)発行、運用
					実施内容	観光協会と協力し、当園の駐車場を利用した市内観光ツアーを検討。	引き続き観光協会とのツアーを検討	引き続き観光協会とのツアーを提案	引き続き観光協会とのツアーを提案	
					自己評価	A	A	A	A	
					備考 (次年度に向けて)	協力体制を継続	協力体制を継続	協力体制を継続	協力体制を継続	
44	5- (1)	2)	花き愛好者団体の活動充実についての具体的な取り組み	①専任スタッフによる愛好者団体との定期的な話し合い・打ち合わせの実施 ②花き愛好者団体の協議会を開催 ・連絡協議会 ・グループ協議会 ③新規の花き愛好者団体による展示会やイベントを実施 ④花き愛好者団体の活動内容、展示会情報を発信 ⑤花き愛好者団体の新規会員募集をサポート	計画	・展示関連の専任スタッフの配置 ・専任スタッフによる各愛好者団体との定期的話し合い・打ち合わせの実施。	・新規愛好者団体の展示サポート ・愛好者団体展示のレベル向上	・花き愛好者団体の活動内容、展示会情報をSNS、HPなど多彩な広報ツールを活用し発信。 ・花き愛好者団体の新規会員募集のサポート。	・花き愛好者団体の活動内容、展示会情報をSNS、HPなど多彩な広報ツールを活用し発信。 ・花き愛好者団体の新規会員募集のサポート。	・花き愛好者団体と当園によるフェスティバルの開催 ・専任スタッフと花き愛好者団体との話し合い・打ち合わせの実施。 ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮してのフェスティバルまたは新規展示会の実施
					実施内容	・専任スタッフの配置 ・専任スタッフによる、話し合い、打ち合わせを実施。	好評の「バラ展示会」「サクラソウ展」「えびね展」の継続と新規団体の展示を実施	好評の「バラ展示会」「サクラソウ展」「えびね展」の継続	好評の「バラ展示会」「サクラソウ展」「えびね展」の継続	
					自己評価	A	A	A	A	
					備考 (次年度に向けて)	展示団体との様々な打ち合わせ等を行い、より活動の充実を図る。	展示会情報の発信を多くして、来園者IPを目指すことと、新規団体の拡大を進めていく。	好評の展示会の充実と新規展示会を進めていく	好評の展示会の充実と新規展示会を進めていく	
48	5- (2)	ア	2) 企業・団体との連携	①地域連携を担う職員として、副園長、広報・協働マネージャーを配置 ②日本植物園協会、県博物館協会、鎌倉市観光協会への入会 ③町内会、神奈川県商工会議所連合会への入会 ④愛好者団体や地域住民との協議会を実施 ⑤充実かつ確実な業務引継ぎで、異の得意時に臨んできた地域との繋がりを継続 ⑥企業とのCSR活動の誘致 ⑦県や地域の事業に積極的に協力・参加 ⑧企業ツアーなどの連携 ⑨鎌倉商工会議所との連携 ⑩鎌倉市観光協会 ⑪湘南モノレール ⑫J.A.さがみ 玉縄支店 ⑬アポック社 ⑭日本植物園協会	計画	・地域連携担当職員を配置 ・日本植物園協会、県博物館協会、鎌倉市観光協会、町内会、神奈川県商工会議所連合会へ入会 ・地域企業、団体との関係構築	・地域連携の継続と強化 ・地域企業、団体のニーズ把握 ・連携事業実行	・連携事業実施	・連携事業実施	・湘南モノレール・ルミネ大船店との連携強化 ・J.A.さがみや市内の学校と協力してのイベント実施
					実施内容	・園長、副園長を中心に地域連携を担当。 ・園長、日本植物園協会常務理事就任、県博物館協会理事就任。鎌倉市観光協会入会済。地元自治会等については、地元関係のイベントへの参加、イベントチラシ各が配布、連合会合への参加等、きめ細かく対応。	・同左 ・1月28日開催の鎌倉市制80周年 植家園研音氏シンポジウム会場に大船フラワーセンターの名称でテーブル装花を提供。	・当園ホームページに湘南モノレール、アポック社との相互リンクを設置。 ・湘南モノレールの定期券・一日乗り放題券をお持ちの方に対して、カフェにてドリンクのサービスを提供。 ・「鎌倉まななみ」を連携し、ラッケーを販売。 ・JR大船駅芸術祭に協力し、写真・ポスター等贈り付け。 ・JR東日本のポスターの掲載	・当園ホームページに湘南モノレール、アポック社との相互リンクを設置。 ・湘南モノレールの定期券・一日乗り放題券をお持ちの方に対して、カフェにてドリンクのサービスを提供。 ・「鎌倉まななみ」を連携し、ラッケーを販売。 ・JR大船駅芸術祭に協力し、写真・ポスター等贈り付け。 ・JR東日本のポスターの掲載	
					自己評価	A	A	A	A	
					備考 (次年度に向けて)	より地域連携を深め、事業に取り込む。	より地域連携を深め、事業に取り込む。	・地域企業との継続と強化をしていく。	・地域企業との継続と強化をしていく。	

令和4年度 年間事業計画・実績書（年度ごとに実施を確認する事項）

様式2-②

施設名またはグループ名		大船フラワーセンター								
NO	様式		事業計画（提案内容）	項目	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
49	5- (2)	ア	近隣教育機関との連携	①団体利用の手引きの整備 ②団体利用者向け体験学習プログラムの整備 ③幼稚園・保育園向けの教育プログラムの提供 ④近隣小学校での出張講座の実施、職場体験等の受入れ ⑤日本ガーデニングデザイン専門学校との連携	計画	・地域教育機関との関係構築 ・日本ガーデニングデザイン専門学校との連携事業内容検討、試行	・団体利用者向け体験学習プログラムの企画、サービス提供 ・職場体験・インターンシップ等の受入れ継続・推進	・出張講座、保育園向け教育プログラムの企画、サービス提供 ・日本ガーデニングデザイン専門学校との連携拡大 ・職場体験・インターンシップ等の受入れ継続・推進	・団体利用の手引き企画、作成、運用開始	・近隣小学校での出張講座実施
				実施内容	・鎌倉養護学校の児童、生徒の職場体験実施。 ・日本ガーデニングデザイン専門学校学生の職場体験実施。 ・各大学の学芸員実習、インターンシップを受け入れ。	・鎌倉養護学校の児童、生徒の職場体験実施。 ・各大学の学芸員実習、インターンシップを受け入れ。	・鎌倉養護学校の児童、生徒の職場体験実施。 ・各大学の学芸員実習、インターンシップを受け入れ。	・鎌倉養護学校の児童、生徒の職場体験実施。 ・各大学の学芸員実習、インターンシップを受け入れ。 ・鎌倉養護学校生徒が作成した花のプランターを本下等学芸員実習へ設置		
				自己評価	S	S	S	S		
				備考 (次年度に向けて)	引き続き事業の充実を図る。	引き続き事業の充実を図る。	引き続き事業の充実を図る。	引き続き事業の充実を図る。		
50	5- (2)	ア	ボランティアの育成	①ボランティア組織「フラワーサポーターズ」の立ち上げ ②分科会の設立 ③ボランティア参加に繋がる講習会、イベントを実施 ④ボランティア体験会の実施 ⑤サポーター交流会の実施 ⑥活動に必要な物品の届出し ⑦活動助成金の取得補助 ⑧保険加入手続きのサポート ⑨教育機関の研修の積極的な受け入れ	計画	・ボランティア参加コースの把握	・フレボランティア活動の実施 ・(1Day)ボランティア募集、実施 ・ボランティア分科会の活動内容検討 (観物管理、ガイド等)	・ボランティア育成講座の実施 ・ボランティア組織の立ち上げ ・鎌倉市のボランティアグループ「緑のレンジャー」の活用を実施	・ボランティア組織立ち上げ ・各種活動実施	・ボランティア活動継続実施 ・「緑のレンジャー」の活用を継続
				実施内容	大船フラワーセンターサポーター制度をつくり試行活動を開始、次年度から本格活動開始。登録者23名。	○サポーター活動開始 登録者：25名 活動回数：18回、延べ参加人数：176人 除草、花がら積み、花植え、ワメ草調査等 ○NPO法人鎌倉みどりのレンジャー 活動回数：35回、延べ参加者数：188人 除草、シャクナゲ花がら積み等、剪定等	○サポーター活動 登録者：25名 活動回数：18回、延べ参加人数：176人 除草、花がら積み、花植え等 ※コロナ感染予防のため18回活動休止 ○NPO法人鎌倉みどりのレンジャー 活動回数：28回、延べ参加人数：138人 除草、花がら積み、樹皮板付掃き等 ※会として感染予防対策をした上で活動 ○講習会等 「鎌倉のサクラ」講習会 3月27日開催 講師：東北生物学校理理学長 前政昭 氏 ※その他、活動時に必要に応じて職員から講習	○サポーター活動 登録者：27名 活動回数：28回、延べ参加人数：212人 除草、花がら積み、花植え等 ※感染対策をした上で活動 ※活動回数以内、定期活動以外の応援活動8回を含む。 ○NPO法人鎌倉みどりのレンジャー 活動回数：38回、延べ参加人数：212人 除草、花がら積み、剪定等 ※会として感染予防対策をした上で活動 ○講習会等 バラ講習会 1月21日開催 講師：山本健生 氏(バラ専門家) ※その他、活動時に必要に応じて職員から講習		
				自己評価	S	S	S	S		
				備考 (次年度に向けて)	引き続き事業の充実を図る。	新型コロナウイルス感染対応のため、当面活動休止の予定。また、夏の期間は熱中症対策のため活動休止としている。 参加者の安全を第一に事業の充実を図る。	参加者の安全を第一に事業の充実を図る。	参加者の安全を第一に事業の充実を図る。		

令和4年度 年間事業計画・実績書<イベント・市民協働・自主事業>

施設名(グループ名)	大船フラワーセンター
------------	------------

		計画					実施					
種別	No.	事業名	概要	新規・継続	予定時期	予定参加人数	備考欄	実施時期	参加人数	実施状況	備考欄	自己評価
展示会	1	「フラワーセンター四季」写真展・春編	国際写真家が選定したフラワーセンター内で撮影された春の写真を中心とした展示会。	継続	4月	FREE						
	2	春の盆栽展	春の芽吹きを感じることができる盆栽展。販売会も併せて開催。	継続	4月	FREE						
	3	フラワーセンター歴史パネル展	フラワーセンターができてから今に至るまでを写真にて紹介するパネル展。	継続	4月・5月	FREE						
	4	サクラソウ展(1)	当園で育てたサクラソウを紹介する展示会。	継続	4月	FREE						
	5	サクラソウ展(2)	江戸時代から武士達の間で栽培されていたともされるサクラソウ。愛好家による展示会と販売会。	継続	4月	FREE						
	6	おしば美術展 春編	自然の美しさをありのままの姿で表現できるおしば。春の花を中心に展示を実施。	継続	4月・5月	FREE						
	7	えびね展(1)	山の手えびね会による蘭の展示会。	継続	4月	FREE						
	8	えびね展(2)	多彩な色や香りが魅力的なランであるえびねの展示会。ミニ教室や販売会なども実施。	継続	4月	FREE						
	9	色鉛筆植物画展 春	色鉛筆を使って描いた植物画を展示する。	継続	4月・5月	FREE						
	10	ミツバチ展 春編	ミツバチと植物の関係を紹介する	継続	5月	FREE						
	11	四季の花・風景写真展	四季の花と風景を併せた写真展を開催。	継続	5月	FREE						
	12	サボテン・多肉植物展	若い方から注目度が高いサボテン・多肉植物の展示会を開催。販売会も併せて開催。	継続	5月	FREE						
	13	押花作品展	古くは植物標本として活用されていた押花。美しい自然色のまま表現できる作品を多数展示。	継続	5月	FREE						
	14	初夏の盆栽展	日本の伝統である盆栽の展示会の初夏編。	継続	5月	FREE						
	15	花の絵画展	障がい者団体による花を描いた絵画展。	継続	5月	FREE						
	16	日本の自生アジサイ展	日本に自生しているヤマアジサイを中心とした展示会&ミニ教室。	継続	5月	FREE						
	17	さつき盆栽展(1)	さつきを対象とした盆栽展。	継続	5月	FREE						
	18	さつき盆栽展(2)	愛好会によるさつき盆栽を対象とした展示会	継続	5月	FREE						
	19	ペゴニア展	人気のペゴニアの展示会。展示会に併せ販売会も実施する。	継続	5月・6月	FREE						
	20	ヤシ展	生活用品に広く使われているヤシ。人の暮らしにどのように使われているかなどをテーマにした展示	継続	6月	FREE						
	21	花とみどりの写真展	花とみどりを撮影した写真展。	継続	6月	FREE						
	22	初夏の洋ラン展	大きくて美しいものから不思議な形をしたものまで、さまざまなランを紹介する展示会。	継続	6月	FREE						
	23	四季の風写真展	デジタルカメラの愛好家による花やみどりをテーマとした写真展。	継続	6月	FREE						
	24	ギボウシ展	人気のギボウシの展示会	継続	6月	FREE						
	25	サボテンミニ展示	人気のサボテンの展示会	継続	6月	FREE						
	26	七夕飾り	来園者参加型の七夕飾り。	継続	6月	FREE						
	27	水生植物展	夏に涼しげな植物の展示会	継続	7月・8月	FREE						
	28	食虫植物展 パート1	珍しい生態の多肉植物とそのしくみを解説を織り交ぜながら展示する。	継続	7月・8月	FREE						
	29	食虫植物展 パート2	愛好家が保持している貴重な食虫植物の展示会。	継続	8月	FREE						
	30	こども絵画展	こどもが描いた植物画の展示会。	継続	7月・8月	FREE						
	31	世界の植物と文化展	世界の植物と文化を紹介する展示会。	継続	8月	FREE						
	32	夜間開館記念展示 夏	夜間開館に併せ、ライトアップなどの特別展示を実施。	継続	7月	FREE						
	33	「フラワーセンター四季」写真展・秋編	国際写真家が選定したフラワーセンター内で撮影された秋の写真を中心とした展示会。	継続	9月	FREE						
	34	おしば美術展 秋編	自然の美しさをありのままの姿で表現できるおしば。秋の花を中心に作品を展示する。	継続	9月・10月	FREE						
	35	秋の洋ラン展	愛好家が育てたランの展示会。販売会も併せて開催。	継続	9月	FREE						
	36	植物アート展(1)	植物をモチーフとしたアート展示会。	継続	9月	FREE						
	37	植物アート展(2)	植物画を中心としたアート展示会	継続	9月	FREE						
	38	四季の花・風景・写真展	四季の花と風景を併せた写真展を開催。	継続	10月	FREE						
	39	サボテン・多肉植物展	若い方から注目度が高いサボテン・多肉植物の展示会を開催。販売会も併せて実施。	継続	10月	FREE						
	40	おもと展	縁起の良い植物として有名なおもとを集めた展示会。	継続	10月	FREE						
	41	ミツバチ展 秋編	ミツバチと植物のかかわりを紹介する展示会	継続	10月	FREE						
	42	菊花大会(切花)	第59回を迎える伝統ある日本の菊栽培の技術向上と普及を図るために開催する切り花の展示会。	継続	10月・11月	FREE						
	43	菊花大会(盆栽)	第59回を迎える伝統ある日本の菊栽培の技術向上と普及を図るために開催する盆栽の展示会。	継続	10月・11月	FREE						
	44	ハロウィンディスプレイ	ハロウィンに向けた仮装コーナーや50kgにもなるおぼけカボチャの展示を行う。	継続	10月・11月	FREE						
	45	色鉛筆植物画展 秋	色鉛筆を使って描いた植物画の展示会。	継続	10月・11月	FREE						
	46	夜間開園記念展示 冬	夜間開園にあわせ展示を実施。	新規	11月・12月	FREE						
	47	クリスマス装飾	クリスマスに植物と関連した展示	継続	11月・12月	FREE						
	48	寒蘭展	寒い時期に咲く寒蘭を集めた展示会。	継続	11月	FREE						
	49	植物アート展(1)	植物をモチーフとしたアート展示。	継続	11月	FREE						
	50	植物アート展(2)	植物を題材としたアート展示会	継続	11月	FREE						
	51	パンジー・ビオラ展	人気のパンジー・ビオラを集めた展示会。	継続	12月・1月	FREE						
	52	新春盆栽展	新年にふさわしい華やかな盆栽の展示会。	継続	1月	FREE						

53	正月装飾	正月を彩る植物の展示会。	継続	1月	FREE						
54	サボテンミニ展示会	人気のサボテンの展示会	継続	1月	FREE						
55	カカオミニ展示	カカオがチョコレートになるまでの工程を紹介する。	継続	2月	FREE						
56	フォトコンテスト作品展示	当園主催のフォトコンテストに参加いただいた作品を展示する。	継続	2月・3月	FREE						
57	クリスマスローズ展（1）	愛好家によるかわいらしいクリスマスローズを集めた展示会。販売会も併せて開催。	継続	2月	FREE						
58	クリスマスローズ展（2）	当園で集めたクリスマスローズの展示会。	継続	2月	FREE						
59	花に魅せられて写真展	フラワーセンターで撮影した花を中心とした写真展。	継続	2月・3月	FREE						
60	花ざんまい写真展	たくさんの花の写真を集めた展示会。	継続	3月	FREE						
61	ランキョウラス展	花弁が重なった姿が人気なランキョウラスを集めた当園主催の展示会。	継続	3月	FREE						
62	サボテン展	人気のサボテンを集めたミニ展示会。	継続	3月	FREE						
63	植木品評会	植木生産農家による展示会&販売会。	継続	3月	FREE						
64	春蘭展	春咲きの蘭の展示会。	継続	3月	FREE						
65	花の絵画展3月	障がい者団体による絵画展	継続	3月	FREE						
66	花の会写真展	花を自由な写真の撮り方で撮影した写真展。	継続	3月	FREE						
67	季節の写真展示	写壇大船による季節の写真展示	継続	通年	FREE						
68	季節の盆栽展示	フラワーセンター保有の盆栽を展示する。	継続	通年	FREE						
69	季節の山野草展示	季節ごとの野草を紹介する。	継続	通年	FREE						
70	四季の立体花壇	立体花壇を使ったオリジナル展示。	継続	年4回	FREE						

1	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	4月	FREE								
2	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	5月	FREE								
3	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	6月	FREE								
4	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	7月	FREE								
5	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	8月	FREE								
6	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	9月	FREE								
7	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	10月	FREE								
8	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	11月	FREE								
9	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	12月	FREE								
10	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	1月	FREE								
11	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	2月	FREE								
12	季節の植物ガイド(園長さんぽ)	季節ごとに園内の見ごろの植物を案内	継続	3月	FREE								
13	四季の菊作り・春	菊作りのコツを公演 ※講師:神奈川県菊花連盟会長	継続	4月	60								
14	母の日の寄せ植え作り	親子で作る寄せ植え教室	継続	5月	20組40名								
15	多肉植物の寄せ植え作り	展示会と連携教室 ※講師:神奈川県サボテン・多肉植物愛好クラブ連合会会長	継続	5月	40								
16	バラガイドツアー	見ごろのバラを紹介する	継続	5月	FREE								
17	バラガイドツアー	見ごろのバラを紹介する	継続	5月	FREE								
18	フラワーアレンジメント	生花を使用したフラワーアレンジメント教室	継続	5月	40								
19	色鉛筆植物画入門「春」①	色鉛筆で季節の植物を描く ※講師:一絵会会長	継続	5月	20								
20	色鉛筆植物画入門「春」②	色鉛筆で季節の植物を描く ※講師:一絵会会長	継続	5月	20								
21	四季の菊作り・初夏	菊作りのコツを公演 ※講師:神奈川県菊花連盟会長	継続	5月	60								
22	父の日の寄せ植え作り	親子で寄せ植え作り	継続	6月	20組40名								
23	ペゴニアの楽しみ方	展示会と連携教室 ※講師:日本ペゴニア協会湘南支部会員	継続	6月	60								
24	花を咲かせる洋ラン栽培	展示会と連携教室 ※講師:洋ラン生産者	継続	6月	60								
25	色鉛筆植物画入門「夏」①	色鉛筆で季節の植物を描く ※講師:一絵会会長	継続	7月	20								
26	色鉛筆植物画入門「夏」②	色鉛筆で季節の植物を描く ※講師:一絵会会長	継続	7月	20								
27	花育実践サポート講座	※神奈川県園芸協会の協力による	継続	7月	40								
28	フラワーアレンジメント教室	生花を使用したフラワーアレンジメント教室	新規	7月	40								
29	食虫植物教室①	展示会との連携教室 ※講師:城南食虫植物の会会長	継続	8月	25								
30	食虫植物教室②	展示会との連携教室 ※講師:城南食虫植物の会会長	継続	8月	25								
31	食虫植物教室③	展示会との連携教室 ※講師:城南食虫植物の会会長	継続	8月	25								
32	食虫植物教室④	展示会との連携教室 ※講師:城南食虫植物の会会長	継続	8月	25								
33	食虫植物教室⑤	展示会との連携教室 ※講師:城南食虫植物の会会長	継続	8月	25								
34	食虫植物教室⑥	展示会との連携教室 ※講師:城南食虫植物の会会長	継続	8月	25								
35	食虫植物教室⑦	展示会との連携教室 ※講師:城南食虫植物の会会長	継続	8月	25								
36	食虫植物教室⑧	展示会との連携教室 ※講師:城南食虫植物の会会長	継続	8月	25								
37	ピンホールカメラで写真現像体験①	暗室での現像体験 ※講師:日本写真協会会員	継続	8月	未定								
38	ピンホールカメラで写真現像体験②	暗室での現像体験 ※講師:日本写真協会会員	継続	8月	未定								
39	ピンホールカメラで写真現像体験③	暗室での現像体験 ※講師:日本写真協会会員	継続	8月	未定								
40	ピンホールカメラで写真現像体験④	暗室での現像体験 ※講師:日本写真協会会員	継続	8月	未定								
41	秋のこけ玉盆栽作り①	風情のある苔玉づくり ※講師:湘南文才教室講師	継続	9月	40								
42	秋のこけ玉盆栽作り②	風情のある苔玉づくり ※講師:湘南文才教室講師	継続	9月	40								
43	洋ラン栽培の楽しみ	展示会との連携教室 ※講師:洋ラン生産者	継続	9月	60								
44	押し花の色紙作り	展示会との連携教室 ※講師:湘南おしぼな会会長	継続	10月	30								
45	色鉛筆植物画入門「秋」①	色鉛筆で季節の植物を描く ※講師:一絵会会長	継続	10月	20								
46	色鉛筆植物画入門「秋」②	色鉛筆で季節の植物を描く ※講師:一絵会会長	継続	10月	20								
47	四季の菊作り・冬の作業と観賞	講演後、菊花展をご案内 ※講師:神奈川県菊花連盟会長	継続	10月	60								
48	バラガイドツアー	見ごろのバラを紹介する	継続	10月	FREE								
49	お正月の和風寄せ植え作り	松竹梅の寄せ植え作り	継続	12月	40								
50	お正月の和風寄せ植え作り	松竹梅の寄せ植え作り	継続	12月	40								
51	クリスマスリースづくり	自然素材のリース作り	継続	12月	30								
52	松ぼっくりのミニツリーづくり①	松ぼっくりを可愛く飾り付ける	継続	12月	50								

53	松ぼっくりのミニツリーづくり②	松ぼっくりを可愛く飾り付ける	継続	12月	50						
54	松ぼっくりのミニツリーづくり③	松ぼっくりを可愛く飾り付ける	継続	12月	50						
55	松ぼっくりのミニツリーづくり④	松ぼっくりを可愛く飾り付ける	継続	12月	50						
56	松ぼっくりのミニツリーづくり⑤	松ぼっくりを可愛く飾り付ける	継続	12月	50						
57	松ぼっくりのミニツリーづくり⑥	松ぼっくりを可愛く飾り付ける	継続	12月	50						
58	バラの剪定実演①	バラ園で剪定を解説	継続	1月	60						
59	バラの剪定実演②	バラ園で剪定を解説	継続	1月	60						
60	色鉛筆植物画入門「冬」①	色鉛筆で季節の植物を描く ※講師：一絵会会長	継続	2月	20						
61	色鉛筆植物画入門「冬」②	色鉛筆で季節の植物を描く ※講師：一絵会会長	継続	2月	20						
62	クリスマスローズ教室	クリスマスローズの栽培法の解説 ※講師：クリスマスローズBC会員	継続	2月	60						
63	ウメガイド（園長ウメさんぽ）	見ごろのウメ園をご案内	継続	2月	FREE						
64	クリスマスローズ教室（1）	クリスマスローズの栽培法の解説 ※講師：クリスマスローズBC会員	継続	2月	60						
65	クリスマスローズ教室（2）	クリスマスローズの栽培法の解説 ※講師：クリスマスローズBC会員	継続	2月	60						
66	早春の苔玉づくり①	早春の植物を使った苔玉づくり ※講師：湘南盆栽教室講師	継続	2月	40						
67	早春の苔玉づくり②	早春の植物を使った苔玉づくり ※講師：湘南盆栽教室講師	継続	2月	40						
68	初心者のためのデジカメ教室①	講演後、園内で写真撮影 ※講師：日本写真協会会員	継続	2月	20						
69	初心者のためのデジカメ教室②	講演後、園内で写真撮影 ※講師：日本写真協会会員	継続	2月	20						
70	ランキョウラスを楽しもう	展示会との連携教室 ※講師：ランキョウラス生産農家	継続	3月	60						

54	夏のクイズラリー	見ごろの花を中心にしたクイズラリー	継続	7月・8月	FREE						
55	ミツバチの内検・採蜜体験会	園内で飼育しているミツバチの巣箱の中の観察と、採れた蜜を試食するイベント	継続	8月	60						
56	敬老の日イベント	ご来園いただいたお客様へ花鉢のプレゼントを実施	継続	9月	100						
57	フラワーカーニバル	ワークショップやコンサートでお客様をお迎えする秋のお祭りイベント。	継続	10月	FREE						
58	ミツバチの内検・採蜜体験会	園内で飼育しているミツバチの巣箱の中の観察と、採れた蜜を試食するイベント	継続	10月	30						
59	鎌倉ジュニアオーケストラ 特別コンサート	湘南地区で小学生から高校性までが活躍するオーケストラ団体の特別コンサート	継続	10月	FREE						
60	ナゾトキラリー	園内のクイズスポットを回るラリー	継続	10月	FREE						
61	ハロウィンのお菓子配布	お子様向けのお菓子配布	継続	10月	FREE						
62	展示会ラリー	期間中、展示会へ複数訪れるとプレゼンを配布するイ	継続	9月～11月	FREE						
63	ポインセチア配布	クリスマス装飾で利用したポインセチアの配布イベン	継続	12月	55						
64	新春くじ引き	新年最初にご来園いただいたお客様へ福引イベントを	継続	1月	800						
65	カレンダープレゼント	園内の毎月の見ごろの花を集めたオリジナルカレンダーを制作し配布	継続	1月	50						
66	七草がゆのふるまい	1月7日に春の七草が入ったお粥をふるまうイベント	継続	1月	100						
67	節分のお面づくり	節分に合わせてオリジナルのお面を制作できるイベン	継続	2月	200						
68	節分福豆プレゼント	節分に合わせて、来園者に福豆をプレゼントするイベ	継続	2月	400						
69	バレンタインチョコ配布	バレンタインに合わせて、チョコをプレゼントするイ	継続	2月	540						
70	玉縄桜まつり	玉縄桜を楽しむイベント。	継続	2-3月	FREE						
71	「鎌倉のサクラ」講演会	鎌倉生まれの桜について学べる講演会	継続	3月	60						

令和4年度 年間作業実施計画・実績書

様式4

施設名(グループ名)	大船フラワーセンター
------------	------------

分類	作業の種類	頻度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
展示植物	水生植物管理	植え替え	1回/年	計画												
	水生植物管理	点検・施肥・落葉処理	通年適宜	実施												
展示植物	展示植物管理	剪定・刈込	通年	計画												
	展示植物管理	点検・施肥・殺虫殺菌・灌水・花ガラ取り	通年	実施												
	ラベル管理	ラベル確認・設置	1回/年	計画												
展示温室植物	展示植物管理	剪定・刈込	1回/年	計画												
	展示植物管理	点検・施肥・殺虫殺菌・灌水	通年	実施												
	ラベル管理	点検・ラベル確認・設置	1回/年	計画												
植え替え花壇	花壇植物管理	植え替え	3回/年	計画												
	花壇植物管理	施肥・殺虫殺菌・灌水・花ガラ取り・除草	通年	実施												
バックヤード植物	鉢物管理	植え替え	1回/年	計画												
	鉢物管理	点検・施肥・殺虫殺菌・灌水	通年	実施												
	鉢物管理	ラベル確認・施肥・殺虫殺菌	鉢物管理	計画												

注) 分類や作業の種類、実施時期等を記入すること
 計画は、青、実施は赤で示すこと
 作業内容等で説明を要するものは、備考欄または別紙により説明を記すること